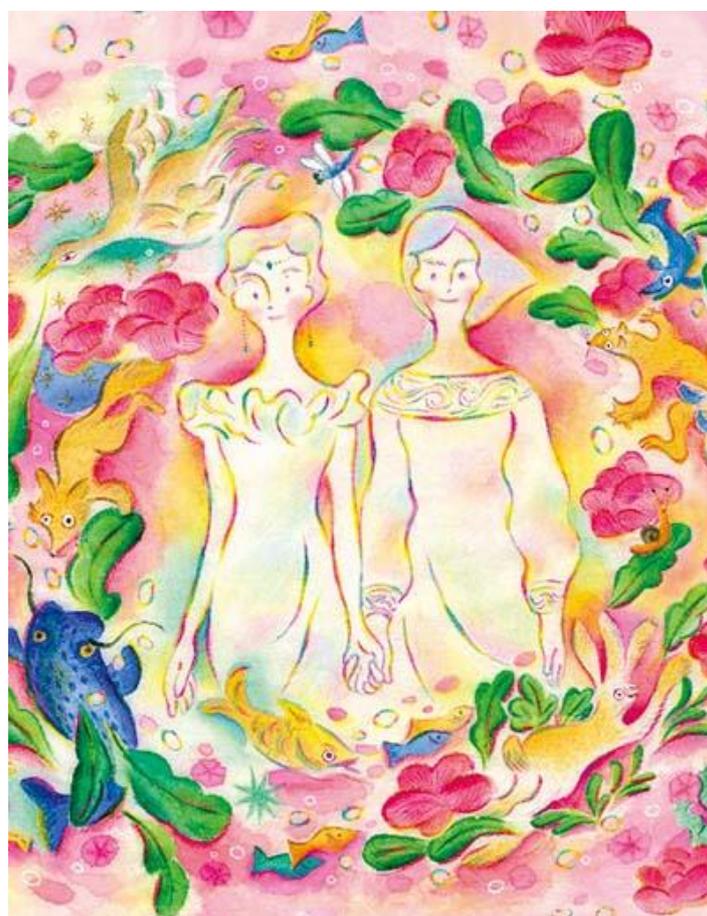


事業番号：0617-0063

事業名称：さくら創造ミュージカル2021-22「湖上のマドリガル」

事業紹介書



栗東芸術文化会館さくら

(指定管理者：株式会社ケイミックスパブリックビジネス)

◎さきら創造ミュージカルについて

栗東芸術文化会館さきらが開館当初より主催事業として実施している市民参加型ミュージカル事業です。古来より交通の要衝として栄えた栗東市を中心とした歴史と文化を題材に、毎回新作ミュージカルとして制作発表しています。そして広く市民の皆さまから出演者を公募し、著名な制作スタッフのもと練習に励み、ミュージカルを上演します。

第13作目となる今作はオペラ「アイーダ」を原案とする、湖のほとりの王国での戦さに翻弄される若者たちの恋を描いた「湖上のマドリガル」。29名の市民キャストが出演しました。

◎新型コロナウイルス感染症対策について

ミュージカルは発声を伴う感染の危険性の高い催しであるため、特に練習での感染対策に心を砕きました。59名の応募者をオーディションで29名に絞り、更に練習会場をホールに変更する、場面ごとに参加者を分けて練習するなど、ソーシャルディスタンスの確保に努めました。また参加者には検温、消毒、マスクの着用を徹底させ、公演前にはキャスト・スタッフ全員にPCR検査を実施しました。

本公演でも例年中ホールで実施しているなか、今回は会場を大ホールに変更したうえで来場者を定員の半数に制限、前後左右の席を1席空けて販売しました。また日本合唱連盟のガイドラインに従い、キャストと客席の間に2メートル以上の間隔をとり、来場者の検温、手指の消毒、マスクの着用のほか、チケットのもぎりやパンフレットの受け取りもご自身でしていただきました。出演者によるお見送りや楽屋訪問、面会、プレゼントの取次も行いませんでした。

その結果、半年以上に及ぶ練習と2日間の本番を合わせて、一人の感染者も出すことなく公演を終えることができました。

◎公演スケジュール

6月15日（火）～29日（火）	出演者募集
7月4日（日）	説明会
7月11日（日）	オーディション
8月21日（土）～2月4日（金）	練習
2月5日（土）・6日（日）	本番

さきら創造ミュージカル2021-22「湖上のマドリガル」

令和4年2月5日（土）17:00開演（16:30開場）

2月6日（日）14:00開演（13:30開場）

会場：栗東芸術文化会館さきら 大ホール

主催：栗東芸術文化会館さきら

企画制作：トールツリー（株式会社ケイミックスパブリックビジネス）

後援：滋賀県教育委員会／栗東市／栗東市教育委員会／京都新聞／読売新聞大津支局／朝日新聞大津総局／
毎日新聞大津支局／産経新聞社／BBCびわ湖放送／しがぎん経済文化センター

助成：一般財団法人自治総合センター

◎あらすじ

美しい湖に隣接する二つの国、或波羅(アルハラ)と伊里寿(イリス)は昔から争いを繰り返してきた。或波羅軍の若き武将浦正(ウラマサ)は、先の戦いで捕らえられ、今は或波羅の王女付きの侍女として仕える咲耶(サクヤ)という女を愛していたが、実は彼女は伊里寿の王女だった。或波羅の王女柚月(ユズキ)は恋に憧れるお年頃。お忍びで市中に出たところ、出会ったのが頼門(ライモン)という恋の手管に長けた男だった。頼門にとっては遊びのつもりが、柚月の純粋さに次第に惹かれていくようになる。

敵国の王女を愛してしまった浦正と、身分違いの恋に悩む頼門。恋人たちの思惑に、摂政大臣・氷室(ヒムロ)による策略が絡み合い、再び戦さののろしが上がろうとしていた……。

◎キャスト（50音順）

井上 静、上田 僚子、永福 采音、大村 仁瑚、尾上 好平、尾上 康太郎、加藤 凜子、岸場 南美希、久保田 凌右、炭之原 由子、竹内 綾香、辰己 類、田中 晴菜、田中 実咲、辻本 七海、寺田 陽香、中村 昌史、西田 青葉、能勢 規子、長谷川 希、松川 薫理、松崎 梨紗、南出 治義、村山 優花、山口 亜美、山本 淳介、横江 琥珀、吉岡 柚季、渡邊 日菜子



公演パンフレットより

◎スタッフ

脚本／吉峯 暁子

演出・演技指導／たみお（ユリイカ百貨店）

音楽・編曲／新井 洋平（ウミネコ楽団）

振付・ダンス指導／外山 尚雄・外山 恵子（スタジオループ）

歌唱指導／橘 千佳

舞台美術／渡辺 舞

衣装／田中 秀彦（iroNic ediHt DESIGN ORCHESTRA）

照明／柴田 順（株式会社ジョイライティングスタッフ）

音響／大久保 歩（有限会社クワット）

小道具／奈古 あゆ未（theatre PEOPLE PURPLE）

舞台監督／酒井 周太（TSC productions）

演出助手・演技指導／今井 千香（ユリイカ百貨店）

演出部／入江 拓郎（THE ROB CARLTON）

演技指導補佐／高阪 勝之（男肉 du Soleil）

編曲補佐／北村 泉

メインビジュアルイラスト／佐々木 未来

メインビジュアルデザイン／刀根 彰吾・安間 仁美（mondo）

映像撮影／竹崎 博人（creative studio Flat box）

スチール／横山 隆平

制作協力／今井 千香（ユリイカ百貨店）

制作統括／上野 邦緒（栗東芸術文化会館さきら館長）

制作／栗東芸術文化会館さきら

企画制作／トールツリー（株式会社ケイミックスパブリックビジネス）

湖上のマドリガル

2月5日(土) 17:00開演 (16:30開演)
2月6日(日) 14:00開演 (13:30開演)

栗東芸術文化会館さきら 大ホール

一般 / 2,000円 大学生以下 / 1,000円

18歳未満の未成年者料金 11月22日(水) 10:00 - 21:00

18歳未満者 11月27日(土) 10:00 -

TEL: 077-551-1414

https://www.sakira-ritto.net/

湖上のマドリガル

【あらじ】美しい湖に静漂する二つの島、成瀬島(アムハラ)と伊豆島(イリス)は昔から争いを繰り返してきた。成瀬島の若き牧師正(ワタマサ)は、島の戦いで捕らえられ、今は成瀬島の王女付の侍女として仕える現職(ユヅキ)という女を愛していたが、実は彼女が伊豆島の王女だった。成瀬島の王女格員(ユヅキ)は悪に堕れるお嬢様、お姫びで市中に出たところ、出会ったのが頼門(ライモン)という悪の手帳に長けた男だった。頼門にとっては遊びのつもりが、痴月の機嫌に次第に恋かたいていくようになる。痴月の王女を愛して待つ運上、夢中者の恋に傾く頼門、悪人たちの悪謀に、経度大限(北山田)による騒動が絡み合い、再び戦いのちがらうとした……

脚本・演出・歌唱指導：たみお(ユリイカ百貨店)
音楽・編曲：新井洋平(ウミネコ楽団)
振付・ダンス指導：外山尚雄・外山恵子(スタジオループ)
舞台美術：渡辺舞
衣装：田中秀彦(iroNic ediHt DESIGN ORCHESTRA)
照明：柴田順(株式会社ジョイライティングスタッフ)
音響：大久保歩(有限会社クワット)
小道具：奈古あゆ未(theatre PEOPLE PURPLE)
舞台監督：酒井周太(TSC productions)
演出助手・演技指導：今井千香(ユリイカ百貨店)
演出部：入江拓郎(THE ROB CARLTON)
演技指導補佐：高阪勝之(男肉 du Soleil)
編曲補佐：北村泉
メインビジュアルイラスト：佐々木未来
メインビジュアルデザイン：刀根彰吾・安間仁美(monDO)
映像撮影：竹崎博人(creative studio Flat box)
スチール：横山隆平

制作協力：今井千香(ユリイカ百貨店)
制作統括：上野邦緒(栗東芸術文化会館さきら館長)
制作：栗東芸術文化会館さきら
企画制作：トールツリー(株式会社ケイミックスパブリックビジネス)

舟上 静	寺田 龍香
上田 優子	中村 晶史
永福 実希	西田 青葉
大村 仁輔	能勢 綾子
尾上 好平	長谷川 香
尾上 康太郎	松川 麗瑠
加藤 涼子	松崎 鞠紗
岸本 真美希	藤出 海音
久保田 凌在	村山 優花
尾之原 由子	山口 華美
竹内 綾香	山本 洋介
辰巳 麗	横江 琥珀
田中 晴菜	吉岡 柚季
田中 実咲	遠藤 日菜子
辻本 七海	

栗東芸術文化会館さきら
https://www.sakira-ritto.net/
http://sakira-m.com/
〒520-1011 滋賀県栗東市第二丁目24番
TEL 077-551-1455 / FAX 077-551-2272

交通のご案内
●最寄り駅：JR 湖上駅 徒歩 10分 (徒歩 5分 徒歩 10分)
●バス：栗東駅 徒歩 10分 (徒歩 5分 徒歩 10分)
●徒歩：栗東駅 徒歩 10分 (徒歩 5分 徒歩 10分)
●徒歩：栗東駅 徒歩 10分 (徒歩 5分 徒歩 10分)

公演チラシ

◎練習の様子



読み合わせの様子



演技稽古の様子



歌唱稽古の様子



ダンス稽古の様子



通し稽古の様子①



通し稽古の様子②

◎公演の様子



公演についてのご意見・ご感想（アンケートより一部抜粋）

- ・皆様が楽しく演技されているのが伝わってきてこちらも楽しく同じ時間を過ごすことができました。
（栗東市・女性・50代）
- ・音楽、歌、ダンスともに期待以上に感動させていただきました。コロナ禍でなかなか観劇もかなわない中、貴重な感動もいただきました。力強い演技、ありがとうございました。（栗東市・女性・40代）
- ・前回公演と比べ出演者が少ないにもかかわらず、一人一人の強い思いから元気が伝わってきて、本当に素敵な舞台でした。（栗東市・女性・10代）
- ・若い世代の人々が頑張っている姿を見てとても力をもらいました。またこのような機会があれば、見に来たいと思います。（栗東市・男性・20代）
- ・よく練習していて全員よかったと思った。コロナに負けず公演があつてよかった。（栗東市・女性・70代）
- ・皆さんの演技、脚本、演出、音楽すべてが大変素晴らしく、感動しました。特に歌の表現が心に打つものがありました。このような状況の中で準備も大変だったと思いますが、心の栄養になりました。
（栗東市・男性・30代）
- ・近くで芸術性の高いミュージカルを見ることができ、嬉しく思います。（草津市・女性・40代）
- ・みんなえんぎがうまかったし、べんきょうにもなった。（草津市・女性・10歳未満）
- ・みんな歌もダンスもとても上手く、言葉もはっきり聞き取れました。曲もよかったです。何回か見てますがレベルが高くなってますね！（守山市・女性・50代）
- ・コロナじゃなかなか気持ちがふさがりますが、パワーをもらいました！ 素晴らしかったです。
（守山市・女性・40代）
- ・久しぶりに若い子の元気な姿を見させていただき、こちらも元気になれるような気がしました。
（野洲市・男性・70代）
- ・友人に誘われて見に来たのですが、想像の10倍よかったです。ミュージカルってやっぱりいいですね。コロナ禍で練習も大変だったと思います。素敵な時間をありがとうございました。（大津市・女性・20代）
- ・初めて観劇しましたが、とても良かったです！ まだまだ厳しい世の中ですが、「頑張ろう！」と元気ももらいました！ 素敵な時間をありがとうございました！（甲賀市・女性・20代）
- ・このような市民の活動を支え、場を提供するさきらの存在は、今後も絶対に貴重です。応援しています！
（大阪市・女性・60代）